

<令和6年度 第4回 (第183回)>
中小企業景況調査報告書

町村における中小企業の景況

令和7年 1月 ~ 3月期実績

令和7年 4月 ~ 6月期予測

令和7年2月17日~3月4日調査



調査概要

1. 調査対象

この調査は、本県の町村部に設置されている商工会地区の中から中小企業の景況を調査したものである。

(1) 対象地区（14商工会）

松川町、桑折町（広域：国見町・川俣町）、保原町、富久山町、平田村、船引町
（広域：三春町・小野町・滝根町・大越町・都路町・常葉町）、岩瀬（広域：大東・長沼・鏡石町・天栄村）、埴町（広域：棚倉町・矢祭町・鮫川村）、南会津町、きたかた、猪苗代町、川内村、鹿島、内郷

(2) 対象企業数及び業種内訳210企業

製造業48企業、建設業32企業

小売業57企業、サービス業69企業

(3) 回答企業数206企業（回答率98.0%）

2. 調査対象期間

令和7年1月～3月期を対象とし、調査時点は令和7年3月1日とした。

3. 調査方法

(1) 対象商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2) 調査対象地区の決定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向調査）の略で、企業経営者を対象に景況を示すいくつかの指数をアンケート調査して、その結果で景況の判断を表わす指標である。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期比あるいは今期と来期（見通し）との比較を行い、増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いたものとする。※日銀短観：DIとは、定義がやや異なります。

前回（令和6. 11. 15）のお天気マーク表

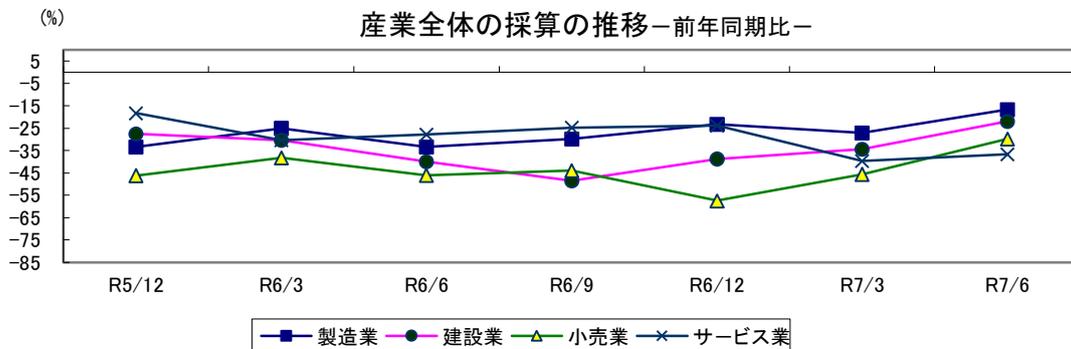
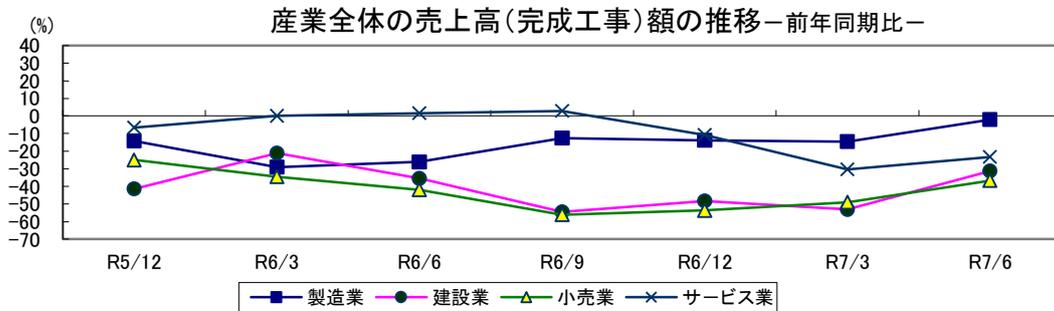
業種	主要指標	売上状況		採算状況	
		実績	見通し	実績	見通し
製造業		△ 13.9 	△ 11.6 	△ 23.2 	△ 18.6 
建設業		△ 48.4 	△ 54.8 	△ 38.7 	△ 48.4 
小売業		△ 53.7 	△ 44.5 	△ 57.4 	△ 46.3 
サービス業		△ 10.9 	△ 15.6 	△ 23.8 	△ 23.9 

1. 産業全体の景況概要

県内商工会地区における今期(令和7年1~3月期)の中小企業景況調査の結果によると、前期DI値と比較して売上額(完成工事額)では、製造業(0.7ポイント悪化)でほぼ現状維持、建設業(4.7ポイント悪化)でほぼ現状維持、小売業(4.6ポイント改善)でほぼ現状維持、サービス業(19.5ポイント悪化)で悪化となっている。採算においては、製造業(3.9ポイント悪化)でほぼ現状維持、建設業(4.3ポイント改善)でほぼ現状維持、小売業(11.8ポイント改善)で好転、サービス業(15.9ポイント悪化)で悪化となっている。

また、今期DI値と比較した来期(令和7年4~6月期)の見通しは売上額(完成工事額)では、製造業(12.5ポイント改善)で好転、建設業(21.8ポイント改善)で大幅な好転、小売業(12.3ポイント改善)で好転、サービス業(7.2ポイント改善)でやや好転の見通しとなっている。採算においては、製造業(10.4ポイント改善)でやや好転、建設業(12.5ポイント改善)で好転、小売業(15.8ポイント改善)で好転、サービス業(3ポイント改善)でほぼ現状維持の見通しとなっている。

お天気マークを見ると、今期の売上額(完成工事額)において、製造業で今期小雨から来期曇、建設業で今期大雨から来期雨、小売業、サービス業で来期まで雨の見通しとなっている。採算性において、製造業、建設業、小売業、サービス業で来期まで雨の見通しとなっている。



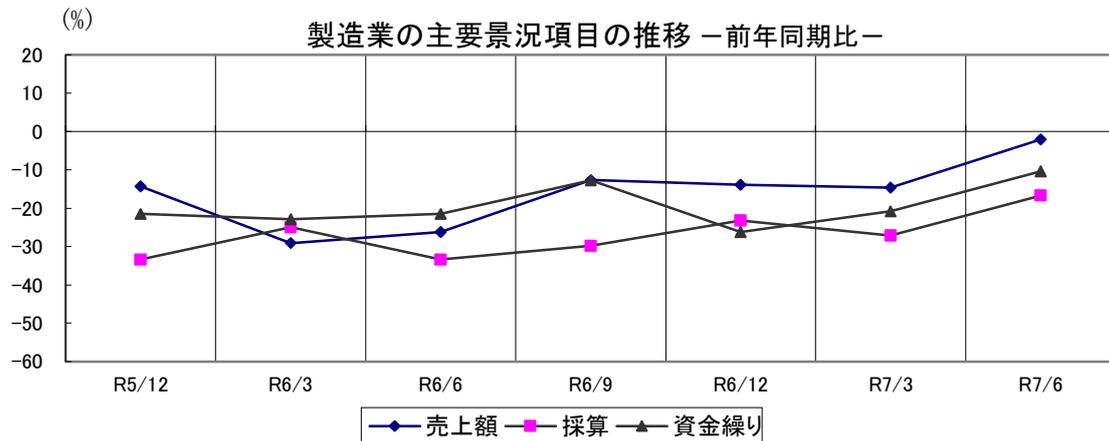
産業全体のお天気マーク-前年同期比-

業種	主要指標	売上状況		採算状況		お天気マークの説明 <マークは各指標のDI値を示す>
		実績	見通し	実績	見通し	
製造業		△ 14.6 	△ 2.1 	△ 27.1 	△ 16.7 	+15%以上 晴
建設業		△ 53.1 	△ 31.3 	△ 34.4 	△ 21.9 	+5%~+14.9% 薄日
小売業		△ 49.1 	△ 36.8 	△ 45.6 	△ 29.8 	±4.9% 曇
サービス業		△ 30.4 	△ 23.2 	△ 39.7 	△ 36.7 	-5%~-14.9% 小雨
						-15%~-49.9% 雨
						-50%以下 大雨

2. 製造業

今期(令和7年1～3月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス14.6ポイント(0.7ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス27.1ポイント(3.9ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス20.8ポイント(5.4ポイント改善のほぼ横ばい)と、売上高でほぼ現状維持、採算でほぼ現状維持、資金繰りでほぼ現状維持となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年4～6月期)見通しの前年同期比DI値は売上高でマイナス2.1ポイント(12.5ポイント改善の上向き)、採算でマイナス16.7ポイント(10.4ポイント改善のやや上向き)、資金繰りでマイナス10.4ポイント(10.4ポイント改善のやや上向き)の見通しと、売上高で好転、採算でやや好転、資金繰りでやや好転の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



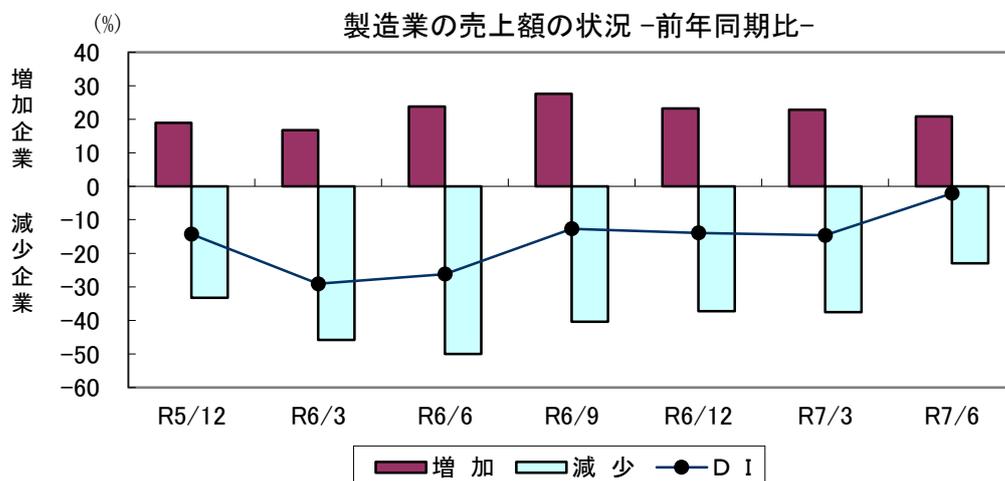
◎売上(加工)額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から0.4ポイント減少し、22.9%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から0.3ポイント増加し、37.5%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から0.7ポイント悪化し、マイナス14.6ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.5ポイント改善し、マイナス2.1ポイントと上向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が2.1ポイント減少、「減少」と回答した企業が14.6ポイント減少であることからことからも、好転の見通しとなっている。

◎製造業の売上(加工)額(前年同期比)

年 / 月	前期				今期		見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
増加	19.0	16.7	23.8	27.7	23.3	22.9	20.8
減少	33.3	45.8	50.0	40.4	37.2	37.5	22.9
D I	△ 14.3	△ 29.1	△ 26.2	△ 12.7	△ 13.9	△ 14.6	△ 2.1



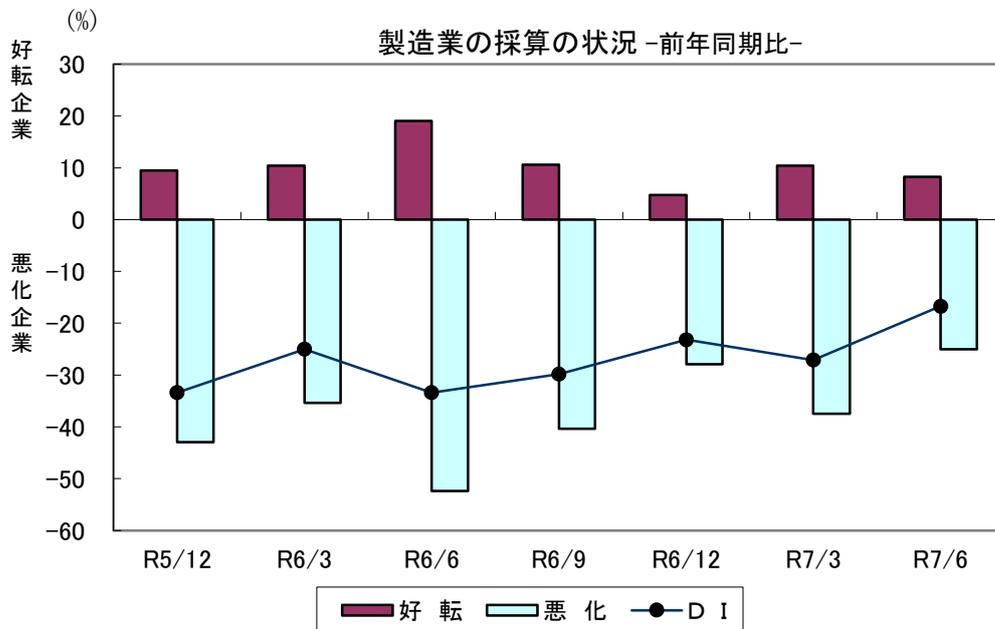
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から5.7ポイント増加し、10.4%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から9.6ポイント増加し、37.5%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から3.9ポイント悪化し、マイナス27.1ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して10.4ポイント改善し、マイナス16.7ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.1ポイント減少、「悪化」と回答した企業が12.5ポイント減少であることから、やや好転の見通しとなっている。

◎製造業の採算（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好 転	9.5	10.4	19.0	10.6	4.7	10.4	8.3
悪 化	42.9	35.4	52.4	40.4	27.9	37.5	25.0
D I	△ 33.4	△ 25.0	△ 33.4	△ 29.8	△ 23.2	△ 27.1	△ 16.7



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から3.9ポイント増加し、6.3%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から1.5ポイント減少し、27.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から5.4ポイント改善し、マイナス20.8ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して10.4ポイント改善し、マイナス10.4ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が4.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業が6.3ポイント減少であることから、やや好転の見通しとなっている。

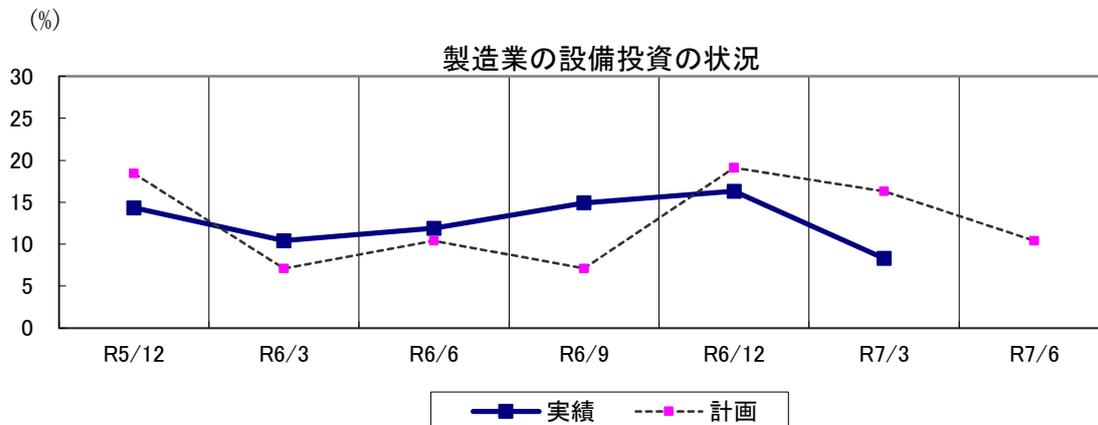
◎製造業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好 転	7.1	6.3	9.5	10.6	2.4	6.3	10.4
悪 化	28.6	29.2	31.0	23.4	28.6	27.1	20.8
D I	△ 21.5	△ 22.9	△ 21.5	△ 12.8	△ 26.2	△ 20.8	△ 10.4

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から8.0ポイント減少し8.3%となっている。投資内容では「OA機器」が75.0%、「生産設備」が25.0%、「その他」が25.0%で、他は0%となっている。

来期に設備投資を計画している企業は10.4%であり、今期計画から5.9ポイント減少、今期実績からは2.1ポイント増加している。

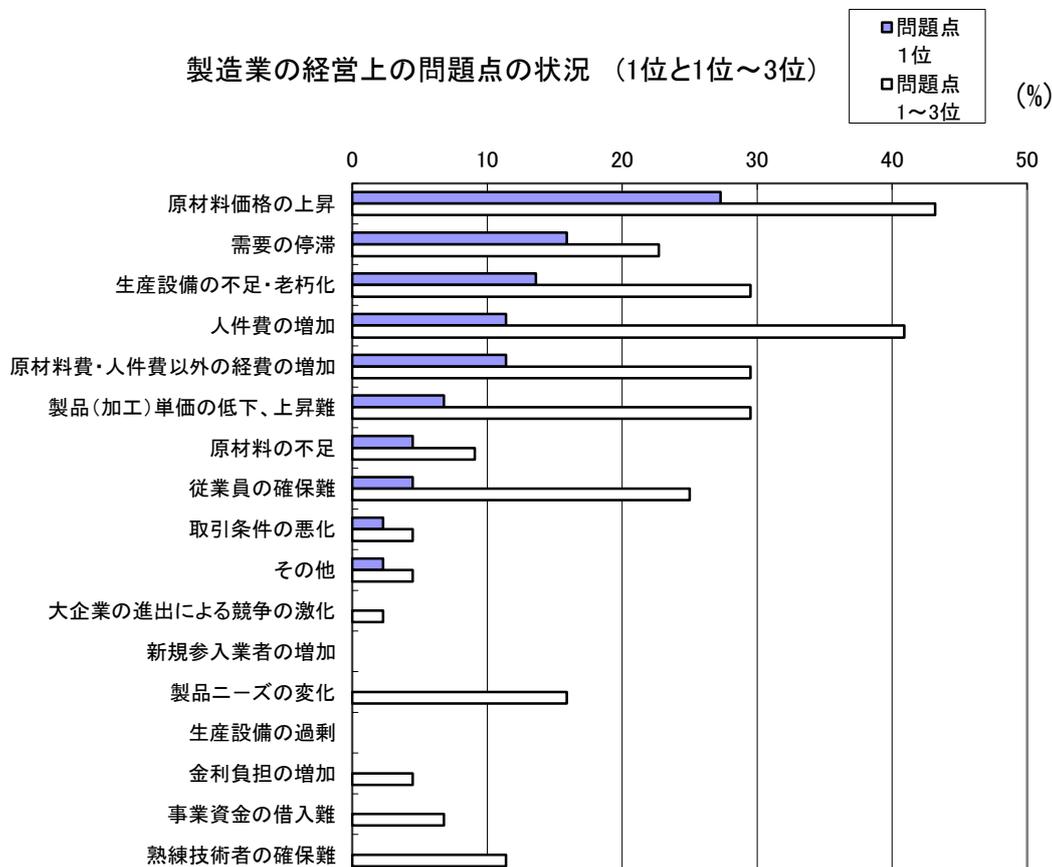


◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「原材料価格の上昇」が27.3%、「需要の停滞」が15.9%、「生産設備の不足・老朽化」が13.6%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「人件費の増加」が11.4%、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「原材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が43.2%、「人件費の増加」が40.9%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「生産設備の不足・老朽化」、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が29.5%、「従業員の確保難」が25.0%、「需要の停滞」が22.7%、「製品ニーズの変化」が15.9%、「熟練技術者の確保難」が11.4%、他は10%未満となっている。

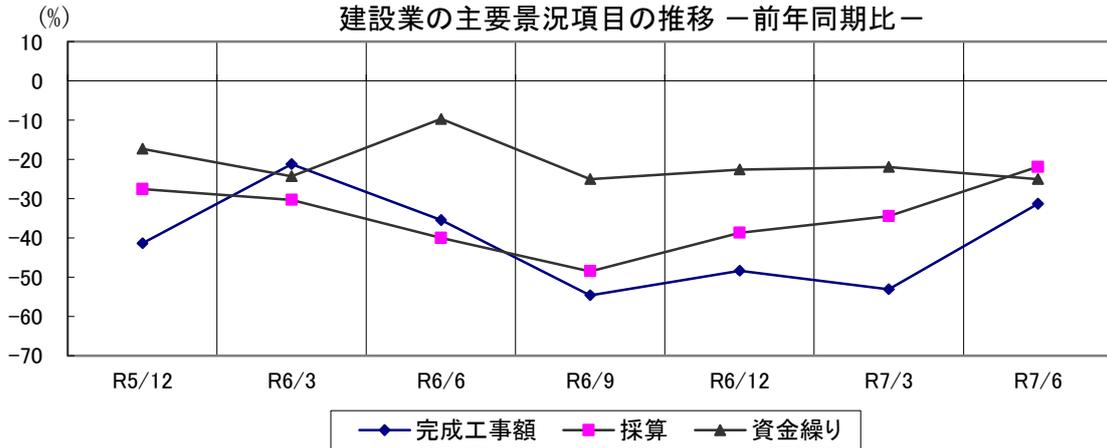
製造業の経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



3. 建設業

今期(令和7年1～3月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス53.1ポイント(4.7ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス34.4ポイント(4.3ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス21.9ポイント(0.7ポイント改善の横ばい)と、売上ではほぼ現状維持、採算ではほぼ現状維持、資金繰りで現状維持となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年4～6月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス31.3ポイント(21.8ポイント改善の大幅な上向き)、採算でマイナス21.9ポイント(12.5ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス25.0ポイント(3.1ポイント悪化のほぼ横ばい)の見通しと、売上高で大幅な好転、採算で好転、資金繰りでほぼ現状維持の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



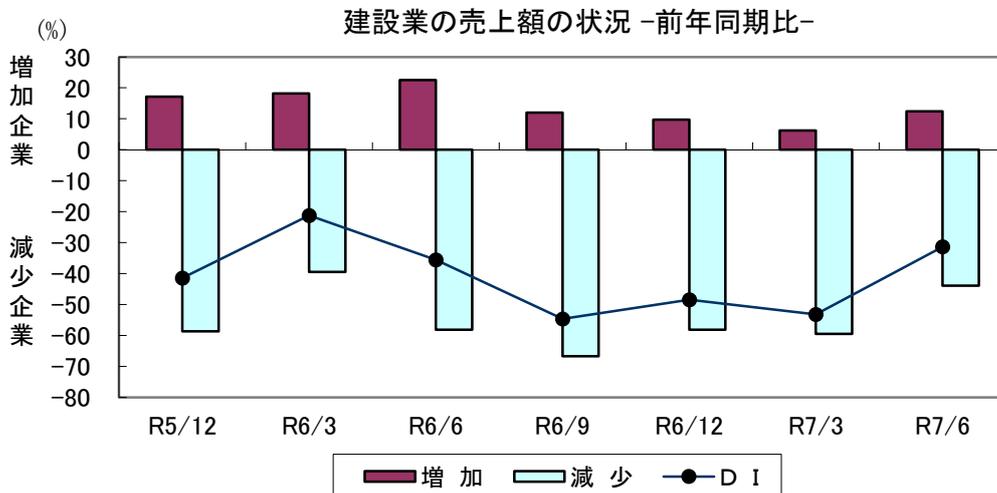
◎完成工事額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から3.4ポイント減少し、6.3%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から1.3ポイント増加し、59.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から4.7ポイント悪化し、マイナス53.1ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して21.8ポイント改善し、マイナス31.3ポイントと大幅な上向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が6.2ポイント増加、「減少」と回答した企業が15.6ポイント減少であることから、大幅な好転の見通しとなっている。

◎建設業の完成工事額（前年同期比）

年 / 月	前期				今期		見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
増加	17.2	18.2	22.6	12.1	9.7	6.3	12.5
減少	58.6	39.4	58.1	66.7	58.1	59.4	43.8
D I	△ 41.4	△ 21.2	△ 35.5	△ 54.6	△ 48.4	△ 53.1	△ 31.3



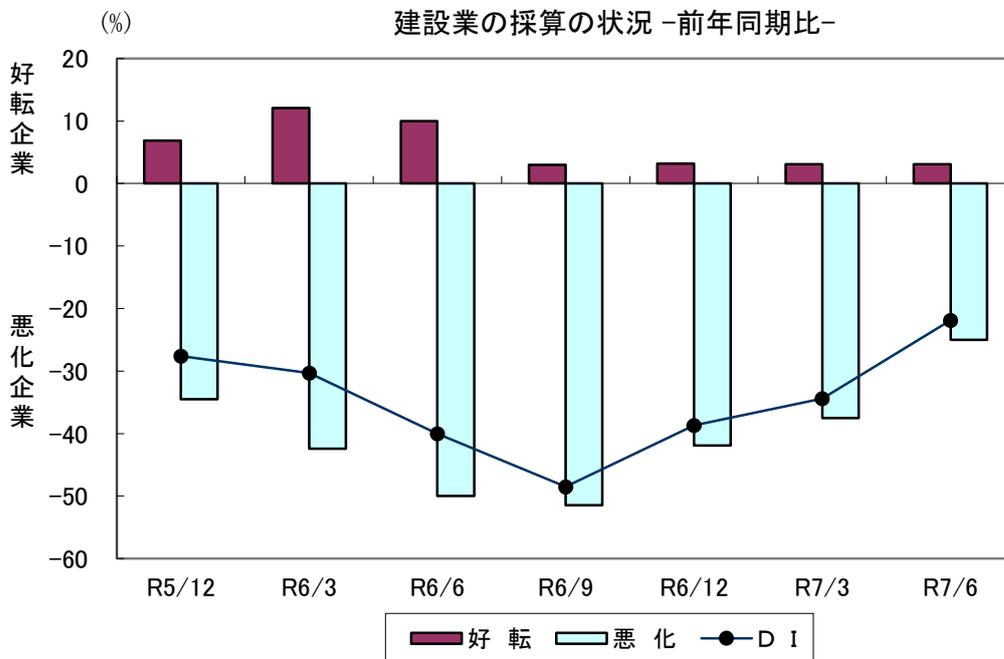
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.1ポイント減少し、3.1%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から4.4ポイント減少し、37.5%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から4.3ポイント改善し、マイナス34.4ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.5ポイント改善し、マイナス21.9ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の3.1%、「悪化」と回答した企業が12.5ポイント減少であることから、好転の見通しとなっている。

◎建設業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好転	6.9	12.1	10.0	3.0	3.2	3.1	3.1
悪化	34.5	42.4	50.0	51.5	41.9	37.5	25.0
D I	△ 27.6	△ 30.3	△ 40.0	△ 48.5	△ 38.7	△ 34.4	△ 21.9



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から3.2ポイント減少し、0.0%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.9ポイント減少し、21.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から0.7ポイント改善し、マイナス21.9ポイントと横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.1ポイント悪化し、マイナス25.0ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が3.1ポイント増加、「悪化」と回答した企業が6.2ポイント増加であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

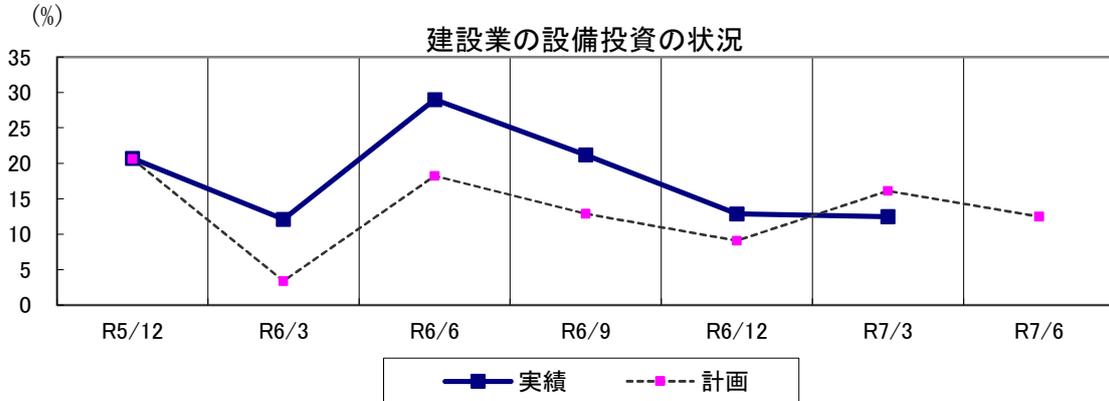
◎建設業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好転	3.4	3.0	3.2	3.1	3.2	0.0	3.1
悪化	20.7	27.3	12.9	28.1	25.8	21.9	28.1
D I	△ 17.3	△ 24.3	△ 9.7	△ 25.0	△ 22.6	△ 21.9	△ 25.0

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から0.4ポイント減少し12.5%となっている。投資内容では「建物機械」が50.0%、「土地」が25.0%、「建物」が25.0%、「車両・運搬具」が25.0%で、他は0%となっている。

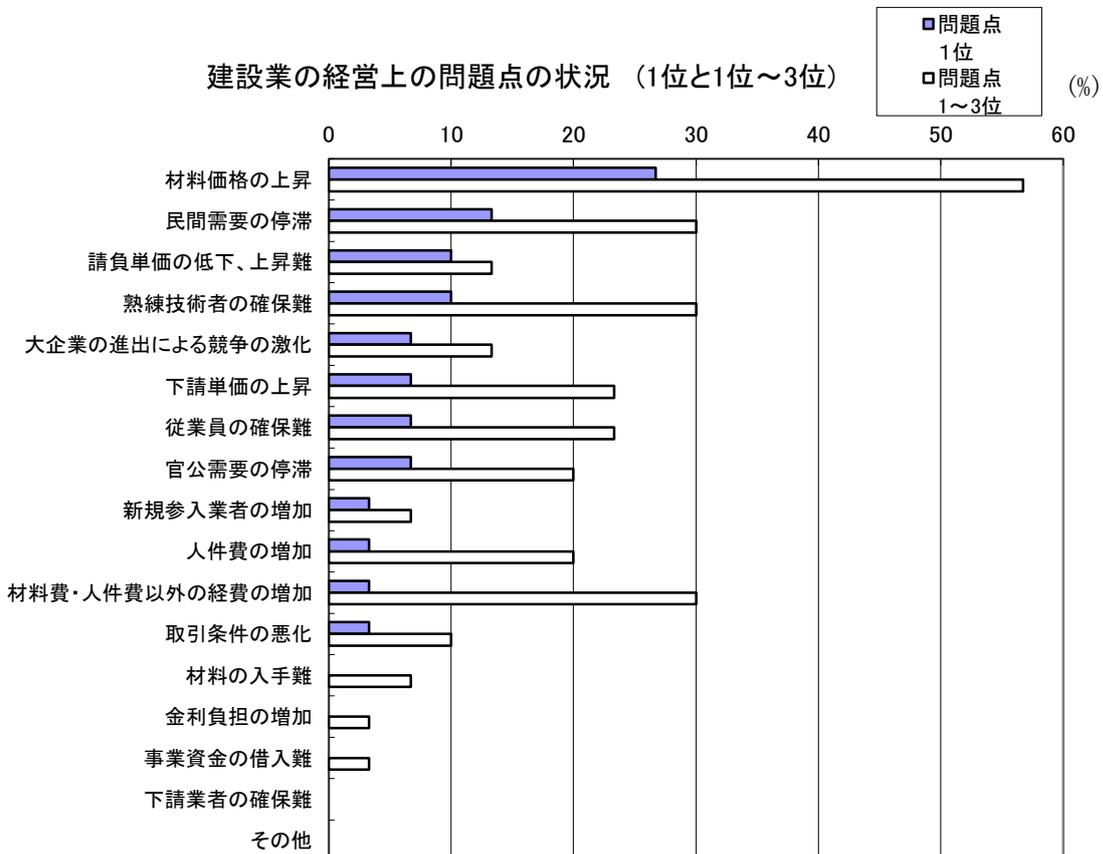
来期に設備投資を計画している企業は12.5%であり、今期計画から3.6ポイント減少、今期実績からは今期と同様の12.5%となっている。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料価格の上昇」が26.7%、「民間需要の停滞」が13.3%、「熟練技術者の確保難」が10.0%、「請負単価の低下、上昇難」が10.0%、他は10%未満となっている。

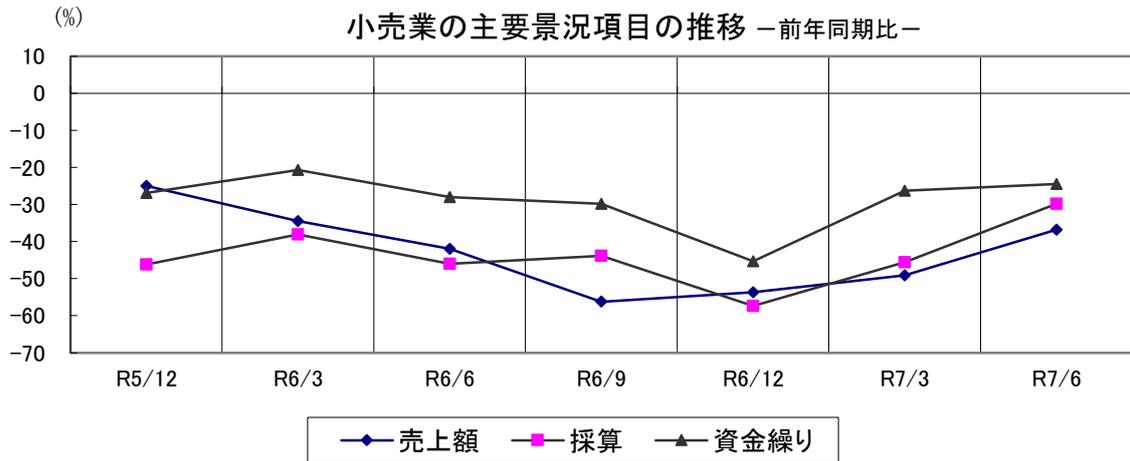
第1位～3位までの合計の問題点は、「材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が56.7%、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「熟練技術者の確保難」、「民間需要の停滞」が30.0%、「下請単価の上昇」、「従業員の確保難」が23.3%、「官公需要の停滞」、「人件費の増加」が20.0%、「請負単価の低下、上昇難」、「大企業の進出による競争の激化」が13.3%、「取引条件の悪化」が10.0%、他は10%未満となっている。



4. 小 売 業

今期(令和7年1～3月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス49.1ポイント(4.6ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス45.6ポイント(11.8ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス26.3ポイント(19.0ポイント改善の上向き)と、売上高ではほぼ現状維持、採算で好転、資金繰りで好転となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年4～6月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス36.8ポイント(12.3ポイント改善の上向き)、採算でマイナス29.8ポイント(15.8ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス24.5ポイント(1.8ポイント改善のほぼ横ばい)の見通しと、売上高で好転、採算で好転、資金繰りでほぼ現状維持の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



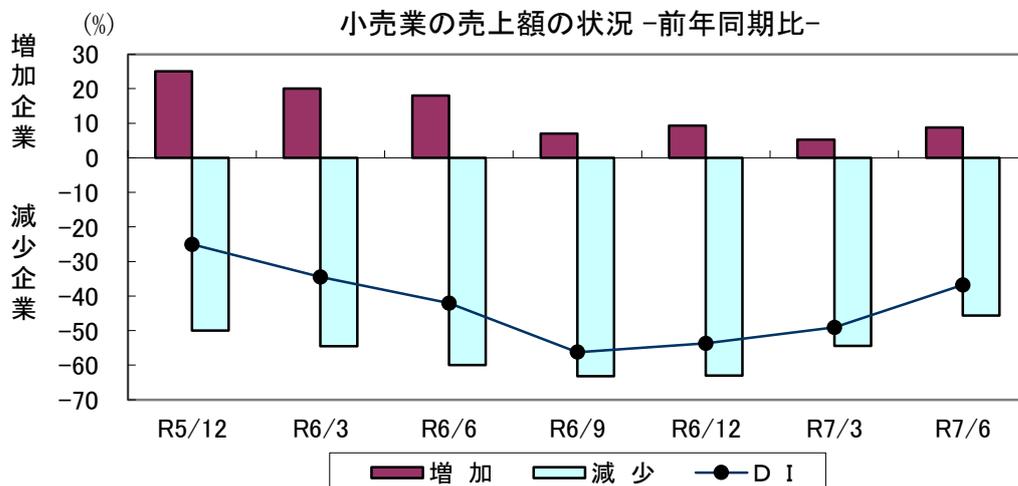
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から4.0ポイント減少し、5.3%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から8.6ポイント減少し、54.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から4.6ポイント改善し、マイナス49.1ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.3ポイント改善し、マイナス36.8ポイントと上向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が3.5ポイント増加、「減少」と回答した企業が8.8ポイント減少であることから、好転となっている。

◎小売業の売上額 (前年同期比)

					前 期	今 期	見通し
年 / 月	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
増 加	25.0	20.0	18.0	7.0	9.3	5.3	8.8
減 少	50.0	54.5	60.0	63.2	63.0	54.4	45.6
D I	△ 25.0	△ 34.5	△ 42.0	△ 56.2	△ 53.7	△ 49.1	△ 36.8



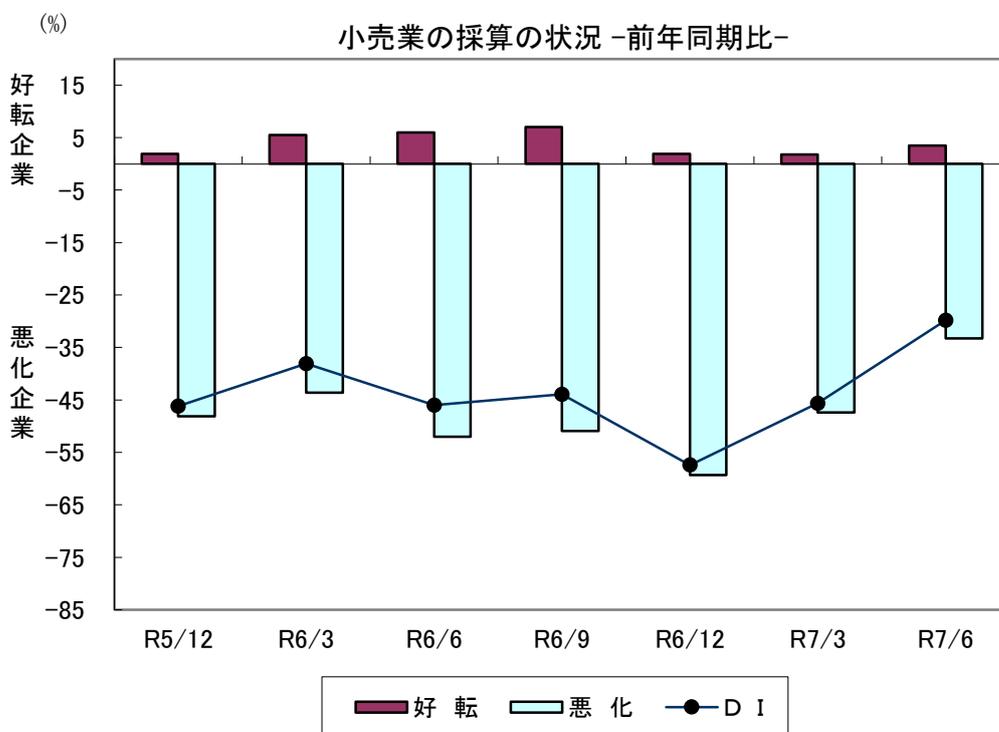
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.1ポイント減少し、1.8%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から11.9ポイント減少し、47.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から11.8ポイント改善し、マイナス45.6ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して15.8ポイント改善し、マイナス29.8ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が1.7ポイント増加、「悪化」と回答した企業が14.1ポイント減少であることから、好転の見通しとなっている。

◎小売業の採算（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好 転	1.9	5.5	6.0	7.0	1.9	1.8	3.5
悪 化	48.1	43.6	52.0	50.9	59.3	47.4	33.3
D I	△ 46.2	△ 38.1	△ 46.0	△ 43.9	△ 57.4	△ 45.6	△ 29.8



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.8ポイント増加し1.8%であった。一方「悪化」と回答した企業は前期から17.2ポイント減少し、28.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から19.0ポイント改善し、マイナス26.3ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.8ポイント改善し、マイナス24.5ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の1.8%、「悪化」と回答した企業が1.8ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

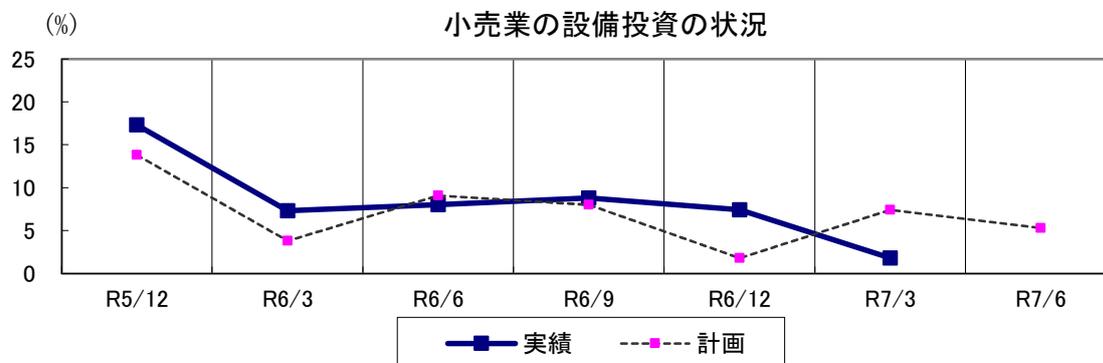
◎小売業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好 転	1.9	1.9	4.0	1.8	0.0	1.8	1.8
悪 化	28.8	22.6	32.0	31.6	45.3	28.1	26.3
D I	△ 26.9	△ 20.7	△ 28.0	△ 29.8	△ 45.3	△ 26.3	△ 24.5

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から5.6ポイント減少し1.8%となっている。投資内容では「その他」が100.0%で、他は0%となっている。

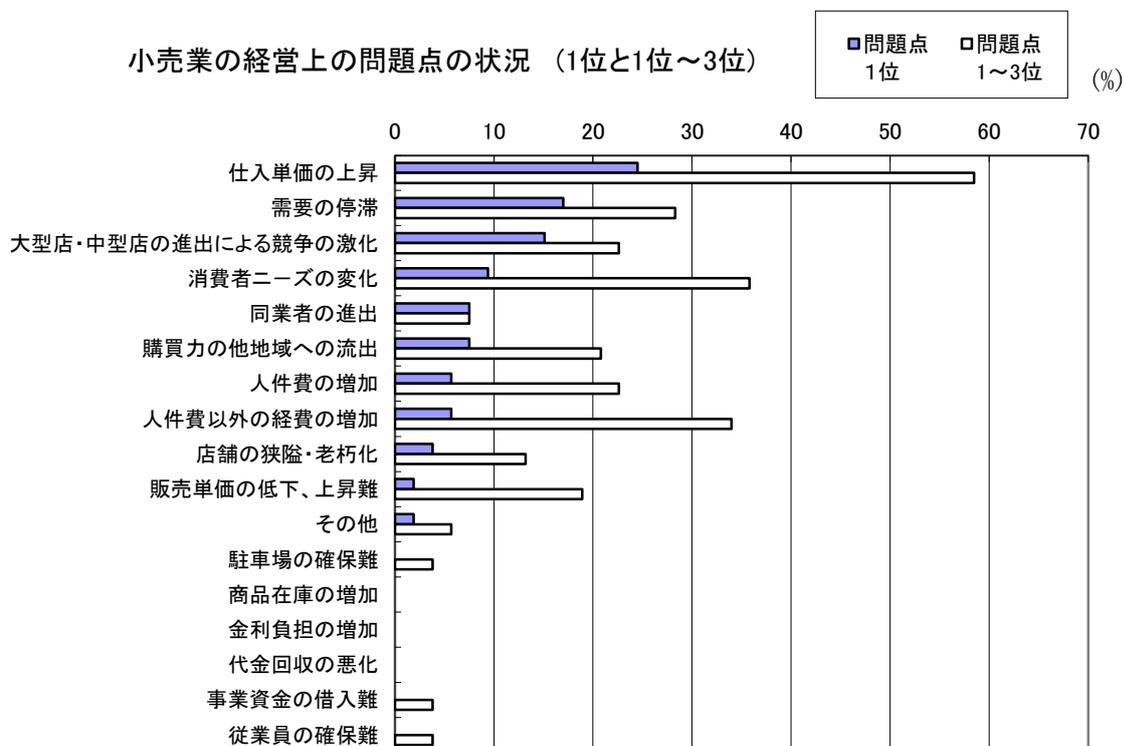
来期に設備投資を計画している企業は5.3%であり、今期計画から2.1ポイント減少、今期実績からは3.5ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「仕入単価の上昇」が24.5%、「需要の停滞」が17.0%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が15.1%、他は10%未満となっている。

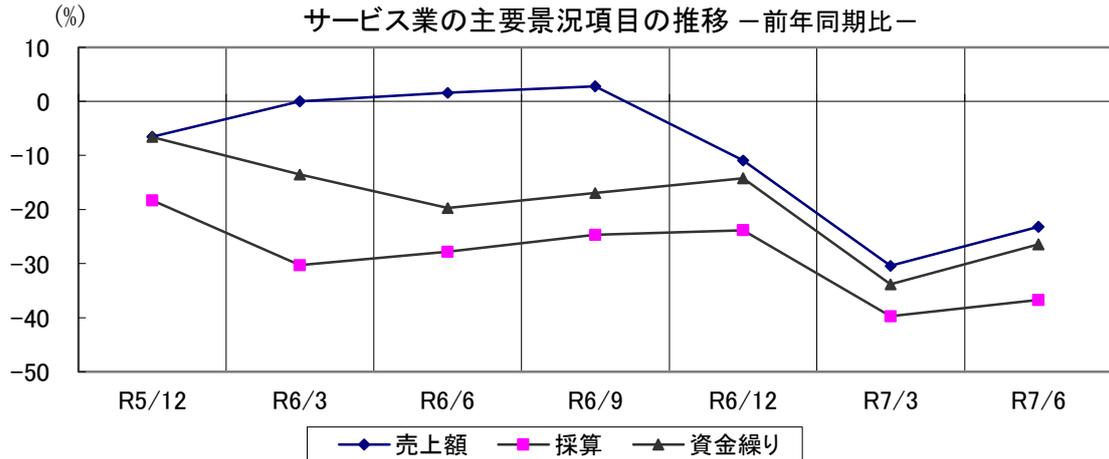
第1位～3位までの合計の問題点は、「仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が58.5%、「消費者ニーズの変化」が35.8%、「人件費以外の経費の増加」が34.0%、「需要の停滞」が28.3%、「人件費の増加」、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が22.6%、「購買力の他地域への流出」が20.8%、「販売単価の低下、上昇難」が18.9%、「店舗の狭隘・老朽化」が13.2%、他は10%未満となっている。



5. サービス業

今期(令和7年1～3月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス30.4ポイント(19.5ポイント悪化の下向き)、採算でマイナス39.7ポイント(15.9ポイント悪化の下向き)、資金繰りでマイナス33.8ポイント(19.6ポイント悪化の下向き)と、売上高で悪化、採算で悪化、資金繰りで悪化となっている。
※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年4～6月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス23.2ポイント(7.2ポイント改善のやや上向き)、採算でマイナス36.7ポイント(3.0ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス26.4ポイント(7.4ポイント改善のやや上向き)と、売上高でやや好転、採算でほぼ現状維持、資金繰りでやや好転の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



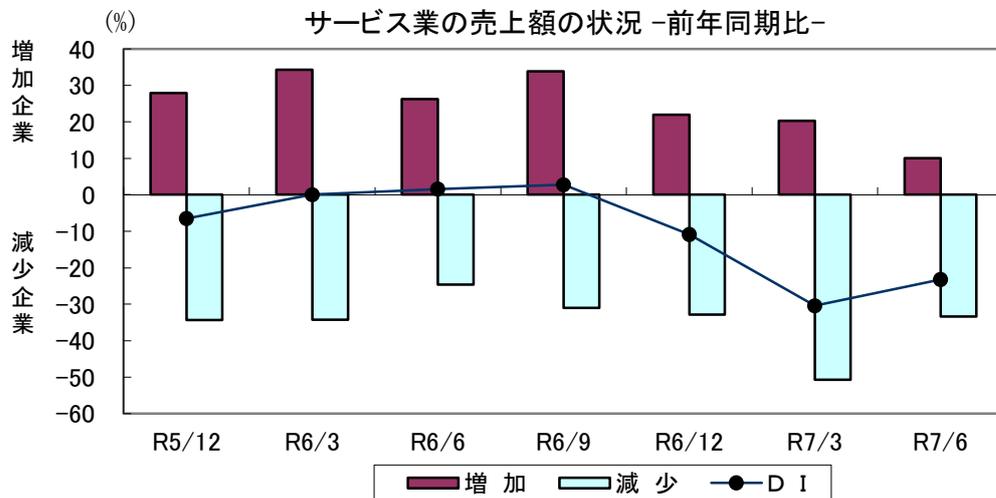
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から1.6ポイント減少し、20.3%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から17.9ポイント増加し、50.7%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から19.5ポイント悪化し、マイナス30.4ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して7.2ポイント改善し、マイナス23.2ポイントとやや上向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が10.2ポイント減少、「減少」と回答した企業が17.4ポイント減少であることから、やや好転の見通しとなっている。

◎サービス業の売上額（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
増加	27.9	34.3	26.2	33.8	21.9	20.3	10.1
減少	34.4	34.3	24.6	31.0	32.8	50.7	33.3
D I	△ 6.5	0.0	1.6	2.8	△ 10.9	△ 30.4	△ 23.2



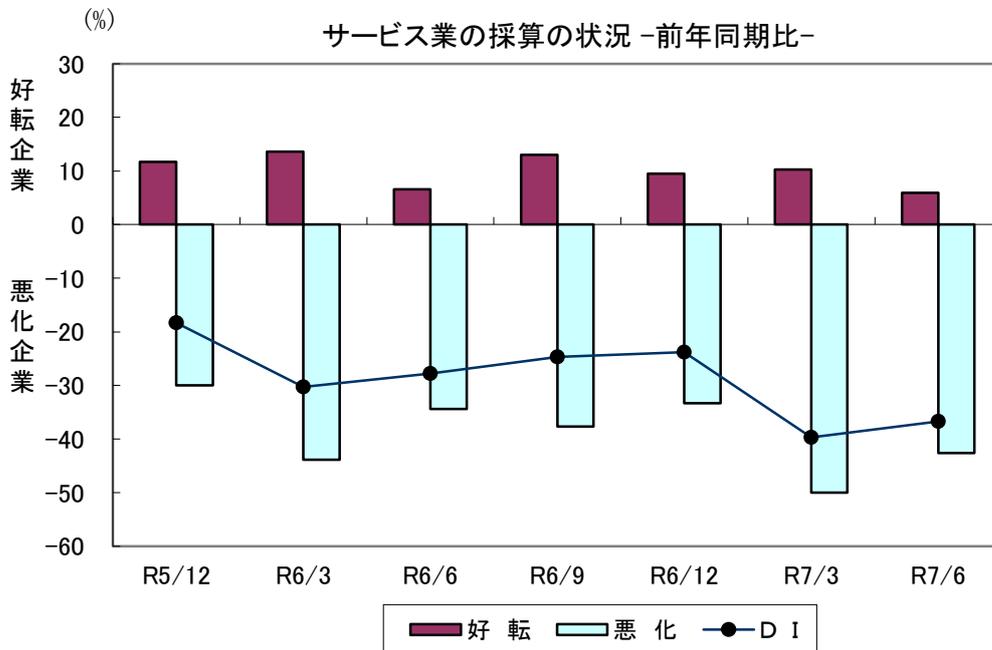
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.8ポイント増加し、10.3%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から16.7ポイント増加し、50.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から15.9ポイント悪化し、マイナス39.7ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して3.0ポイント改善し、マイナス36.7ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が4.4ポイント減少、「悪化」と回答した企業が7.4ポイント減少であることから、ほぼ現状維持の見通しとなっている。

◎サービス業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好転	11.7	13.6	6.6	13.0	9.5	10.3	5.9
悪化	30.0	43.9	34.4	37.7	33.3	50.0	42.6
D I	△ 18.3	△ 30.3	△ 27.8	△ 24.7	△ 23.8	△ 39.7	△ 36.7



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.4ポイント減少し、4.4%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から19.2ポイント増加し、38.2%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から19.6ポイント悪化し、マイナス33.8ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して7.4ポイント改善で、マイナス26.4ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.9ポイント減少、「悪化」と回答した企業が10.3ポイント減少であることから、やや好転の見通しとなっている。

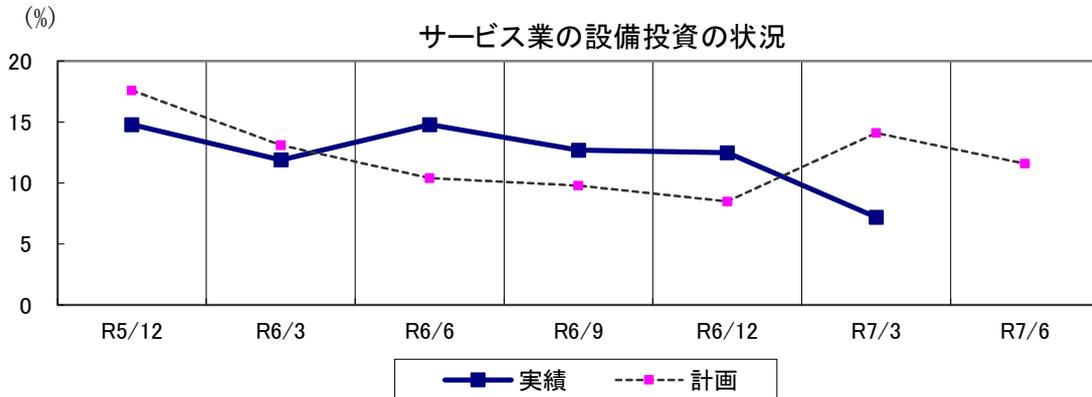
◎サービス業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6
好転	4.9	10.4	4.9	8.5	4.8	4.4	1.5
悪化	11.5	23.9	24.6	25.4	19.0	38.2	27.9
D I	△ 6.6	△ 13.5	△ 19.7	△ 16.9	△ 14.2	△ 33.8	△ 26.4

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から5.3ポイント減少し7.2%となっている。投資内容では「建物」が20.0%、「サービス」が20.0%、「車両・運搬具」が20.0%、「付帯施設」が20.0%、「OA機器」が20.0%、「その他」が20.0%で、他は0%となっている。

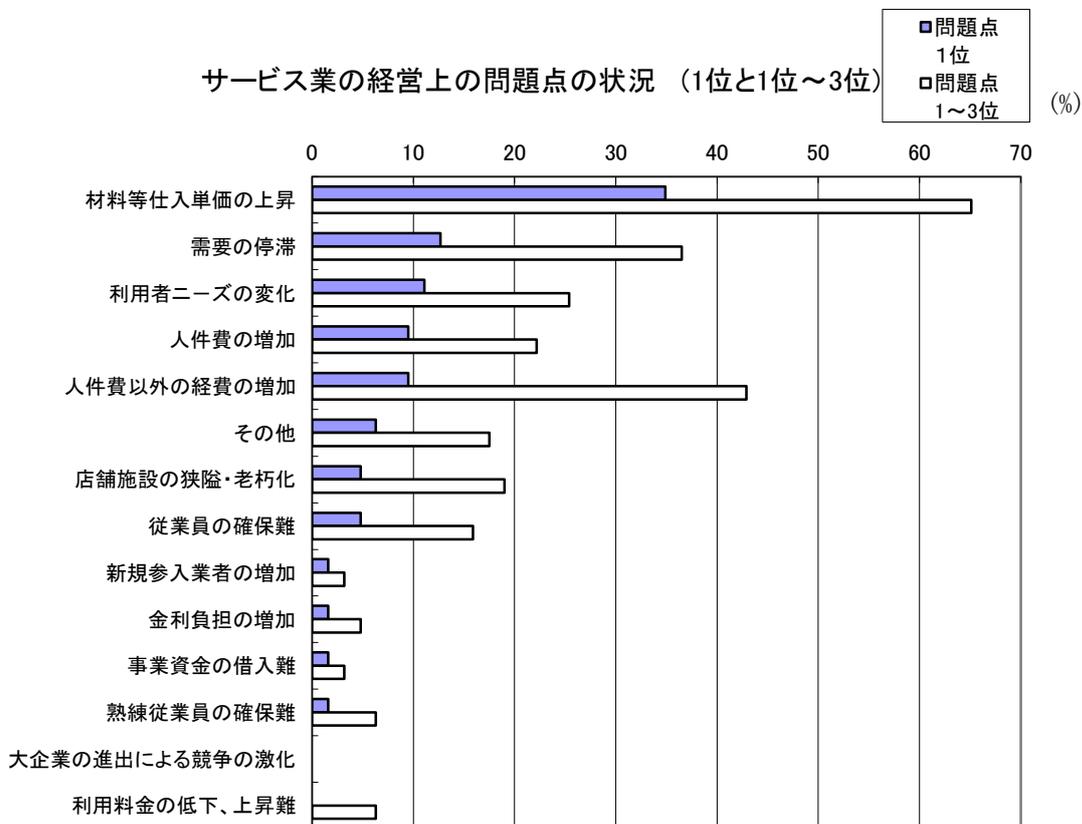
来期に設備投資を計画している企業は11.6%であり、今期計画から2.5ポイント減少、今期実績からは4.4ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が34.9%、「需要の停滞」が12.7%、「利用者ニーズの変化」が11.1%、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が65.1%、「人件費以外の経費の増加」が42.9%、「需要の停滞」が36.5%、「利用者ニーズの変化」が25.4%、「人件費の増加」が22.2%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が19.0%、「その他」が17.5%、「従業員の確保難」が15.9%、他は10%未満となっている。



調査対象企業の

(1) 業種別(中分類)企業数

製 造 業				建 設 業				
業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)
食 料 品	10	20.8	総 合 工 事 業	21	65.6			
飲 料 ・ 飼 料 ・ た ば こ	2	4.2	職 別 工 事 業	7	21.9			
織 維 工 業	1	2.1	設 備 工 事 業	4	12.5			
衣 服 ・ そ の 他 織 維 製 品	4	8.3						
木 材 ・ 木 製 品	3	6.3						
家 具 ・ 装 備 品	1	2.1						
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品								
印 刷 ・ 同 関 連 産 業	4	8.3						
化 学 工 業								
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	2	4.2						
窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2.1						
鉄 鋼 業								
金 属 製 品	6	12.5						
一 般 機 械 器 具	7	14.6						
電 気 機 械 器 具								
情 報 通 信 機 械 器 具								
電 子 部 品								
輸 送 用 機 械 器 具								
精 密 機 械 器 具	1	2.1						
そ の 他	6	12.5						
合 計	48	100.0	合 計	32	100.0			

(2) 従業員数別企業数

従 業 員	製 造 業		建 設 業		小 売 業		サ ー ビ ス 業	
	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)
0 ～ 2 人	18	37.5	8	25.0	46	80.7	46	66.7
3 ～ 5	6	12.5	11	34.4	11	19.3	14	20.3
6 ～ 10	5	10.4	6	18.8			4	5.8
11 ～ 20	9	18.8	5	15.6			2	2.9
21 ～ 50	6	12.5	2	6.3			3	4.3
51 ～ 100	4	8.3						
101 ～ 300								
合 計	48	100.0	32	100.0	57	100.0	69	100.0

福島県商工会連合会および各広域指導センター住所

名 称	郵便番号	住 所	電 話	F A X
福島県商工会連合会	960-8053	福島市三河南町1番20号 (コラッセふくしま9F)	024-525-3411	024-525-3413
中通り広域指導センター	962-0028	須賀川市茶畑町46-105	0248-94-2680	0248-94-2677
会津広域指導センター	969-6195	大沼郡会津美里町字北川原 41 会津美里町役場本郷庁舎3F	0242-93-5607	0242-56-3815
浜通り広域指導センター	970-8026	いわき市平堂根町4の17 いわき中央ビル5F	0246-25-1011	0246-25-1013